

福知山線脱線事故から13年

4月25日、福知山線脱線事故（死者107名、負傷者562名）から13年が経ちましたが、今もなお事故の後遺症に苦しむ方々が大勢います。

薄れつつある事故の教訓

この事故を教訓に安全に対する意識は向上してきたはずですが、去年は新幹線の異音を放置し運行を続けた結果、台車亀裂が14cmに及び、あわや破断する重大インシデントが発生しました。この件に関して遺族からは「福知山線事故の教訓を得ていない。」と怒りの声があがっています。

鉄道に競争意識は必要無い！

事故の直接的な原因は速度超過によるものですが、「なぜそこまで速度を出して遅れを取り戻さなければならなかったのか」が、重要な要素として問題視され、過度な評価制度で「ミスを犯せば乗務を降ろされてしまう」との焦りから遅れを取り戻す為に無理な運転をしてしまったのではないかと言われています。

チームワークが重要になる鉄道業では「社員間の競争意識」は全く必要ありません！安全な職場風土を確立する為に、おかしいことがあったら全員で声をあげていこう！！



貨物労組関西地本も参加しました。